

平成24年度岐阜県みどりの少年団交流集会開催

8月10日（金）、関市小屋名の岐阜県博物館において「平成24年度岐阜県みどりの少年団交流集会」を、県内のみどりの少年団11団体97名（引率者含む）の参加を得て開催しました。



参加したみどりの少年団のみなさん



午前中に行われた「みどりの少年団活動発表」では、東白川緑化少年団、加子母中学校緑化少年団、宮川小みどりの少年団の発表及び、昨年度最優秀に選ばれた牧谷小みどりの少年団の特別発表が行われ、植林や間伐などの森林整備活動、樹木や水質調査などの学習活動、シイタケ栽培の体験活動などについて、パワーポイントを使って元気に発表してくれました。



活動発表の様子



学芸員から説明を受ける少年団たち

審査の結果は、審査員長の今井猛関市立下有知小学校長からの講評の後で発表され、今年度の最優秀には東白川緑化少年団（東白川村）が選ばれました。

午後からの交流活動では、当博物館で特別展として開催されている「ジオペディアぎふ」や常設展示物について学芸員の方から説明を受けました。

また、百年公園内の森の中に入り、人工林や里山林などの特徴について観察をするなど、夏休みの一日を楽しく過ごしました。



森林散策の様子